

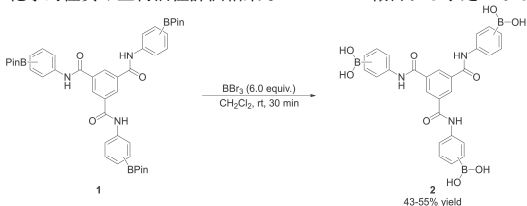
23PO-am087

トリバレント C₃ 対称性フェニルボロン酸の合成と生物活性

○古舘 信¹, 牛島 由紀子¹, 池廣 裕馬¹, 稲田 智美¹, 周 建融², 横溝 和美², 鹿志毛 信広¹, 見明 史雄¹, 須本 國弘¹ (¹福岡大薬, ²崇城大薬)

【目的】糖鎖の機能に関連する生物活性分子の探索研究の一環として、対称性ボロン酸誘導体の研究を展開している^{1,2,3}。最近 C₂ 対称性ボロン酸ピナコールエステルから対応するボロン酸の合成と生物活性評価について報告している¹。今回、C₃ 対称性ボロン酸ピナコールエステルからトリバレント C₃ 対称性ボロン酸の簡便合成および生物活性評価を企図した。

【結果】ジクロロメタン中室温にて、C₃ 対称性ボロン酸ピナコールエステル **1** に対し、6 当量の三臭化ホウ素を 30 分間反応させ、目的とするトリバレント C₃ 対称性ボロン酸 **2** を 43~55%収率にて得ることができた。得られた C₃ 対称性ボロン酸誘導体の化学的性質や生物活性評価結果などについて報告する予定である。



1. Furutachi M. *et al.*, *Heterocycles*, **96**, 1088-1100 (2018).
2. Furutachi M. *et al.*, *Heterocycles*, **96**, 144-151 (2018).
3. Furutachi M. *et al.*, *Org. Prep. Proced. Int.*, **49**, 287-292 (2017).